

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

田中 宏

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第91期事業年度(平成15年4月1日より平成16年3月31日まで)の中間事業報告書をお届けいたします。

当上半期のわが国経済は、イラク戦争の終結、アメリカの景気回復、アジアの成長軌道維持、国内株安一巡等を受けて、輸出・設備投資主導の景気回復傾向がみられましたが、期後半の円高もあり、このまま自律的回復軌道に乗って、デフレ脱却へと向かうには依然不透明さが残っております。

化学工業におきましても、IT関連素材の需要の拡大はありましたが、価格の下落傾向が続く中で、原油産出国の政情不安定を映した原材料価格の高止まりにより事業環境の好転には至っておりません。

当社およびグループ各社はこのような状況のもとで、PPS樹脂、ふっ化ビニリデン樹脂等機能樹脂の半導体等電気・電子素材用途および医・農薬分野等付加価値の高い製品等の拡販に注力し、前期に決定いたしました塩化ビニル樹脂等コモディティ事業からの撤退による採算改善の効果を確実なものとしてまいりました。

この結果、売上高は656億6千万円、経常利益は36億1千万円となり、前年同期に比べ、売上高では32億3千9百万円の増収、経常利益は18億1千6百万円の増益となりました。

中間純利益につきましては、固定資産除却売却損6億7千5百万円等の計上を含め、18億4百万円となり、前年同期に比べ8億3千8百万円の増益となりました。

なお、中間配当につきましては、当初予定のとおり見送らせていただくこといたしました。株主の皆様には、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後のわが国の経済見通しにつきましては、引き続き不透明な状況の中で為替・金利等の不安定要因により景気底離れに水をさされる懸念が残っております。

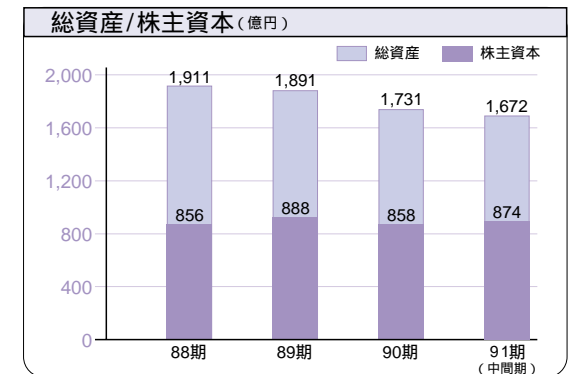
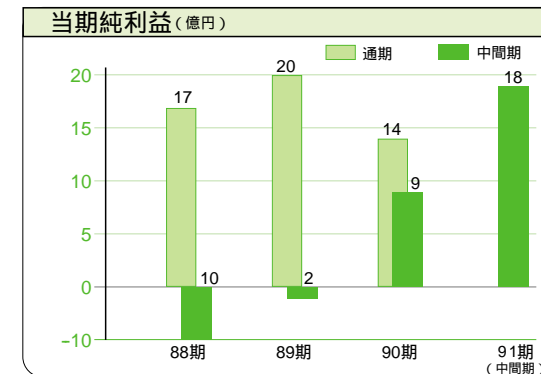
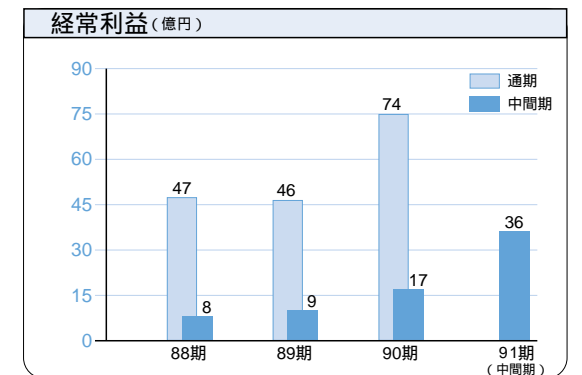
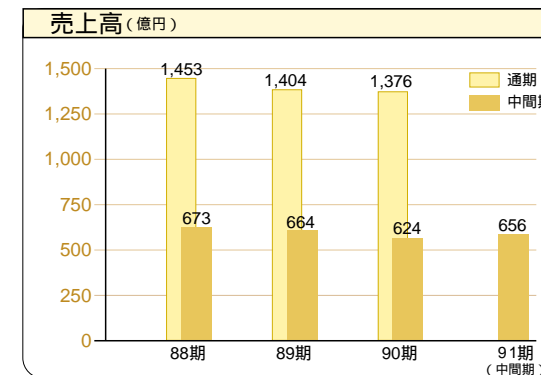
このような環境下で、当社といたしましては、グローバルな事業展開による業容の拡大、適正な価格で流通する商品価値の確立、視点をグローバルにもち、ニッチな分野でも世界一を目指す研究開発の推進、連結経営の一層の強化、コンプライアンスの徹底、レスポンシブル・ケア 環境保護、安全等に関する自主的管理活動 実施宣言に沿った地球環境の保護および安全と健康確保のための諸施策を通じて、当初の年間利益目標を達成すべく更なる努力を重ねてまいります。

通期の連結業績見通しといたしましては、売上高は前期並みの1,390億円(前期比1.0%増)、経常利益は90億円(前期比20.4%増)、当期純利益につきましては40億円(前期比175.3%増)を見込んでおります

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

	第88期 平成12年度	第89期 平成13年度	第90期 平成14年度	第90期(前中間期) 平成14年度	第91期(当中間期) 平成15年度
売上高(百万円)	145,311	140,438	137,647	62,420	65,660
営業利益(百万円)	6,272	6,290	8,289	2,225	4,237
経常利益(百万円)	4,700	4,626	7,473	1,793	3,610
中間(当期)純利益(百万円)	1,704	2,034	1,453	966	1,804
総資産(百万円)	191,154	189,188	173,129	179,169	167,253
株主資本(百万円)	85,639	88,817	85,866	85,823	87,437
株主資本比率(%)	44.8	46.9	49.6	47.9	52.3
1株当たり中間(当期)純利益(円)	8.06	10.05	7.13	4.87	9.32
1株当たり株主資本(円)	412.54	447.44	442.40	435.49	453.91



## 機能製品事業

当セグメント の売上高	当中間期 12,571(百万円)	構成比 19.1%	前中間期 14,257(百万円)	構成比 22.8%
----------------	---------------------	--------------	---------------------	--------------

PPS樹脂、ふっ化ビニリデン樹脂は、半導体等電気・電子素材用途の需要回復により前年同期を上回る売上げ、営業利益を達成いたしました。

炭素製品のうち、球状活性炭につきましては輸出の好調により、炭素繊維につきましては熱処理炉用断熱材用途の需要回復により、売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ増加いたしました。

MBS系耐衝撃強化剤、アクリル系耐衝撃強化剤は、平成15年1月に営業権を譲渡し、国内については受託生産へ移行したため、売上げ、営業利益は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

以上の結果、本セグメントの売上高は125億7千1百万円、営業利益は13億9千8百万円となり、前年同期に比べ、売上高は16億8千6百万円の減収、営業利益は1億6千2百万円の増益となりました。

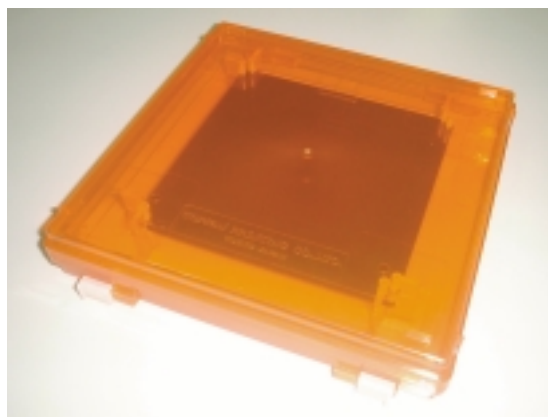
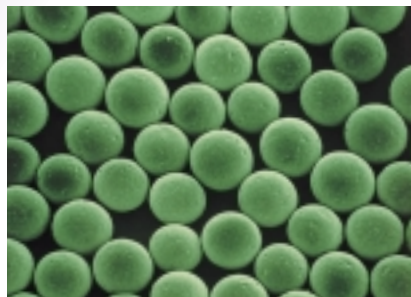
### 機能樹脂

PPS樹脂  
ふっ化ビニリデン樹脂  
制電樹脂  
機能性コンパウンド  
光学材料

### 炭素製品

炭素繊維  
球状活性炭  
特殊炭素材料

球状活性炭



耐久制電樹脂(バイオン)を利用した  
半導体用フォトマスクケース

## 化学製品事業

当セグメント の売上高	当中間期 16,535(百万円)	構成比 25.2%	前中間期 14,199(百万円)	構成比 22.8%
----------------	---------------------	--------------	---------------------	--------------

工業薬品分野では、パラジクロロベンゼン等の拡販により前年同期に比べ採算は改善いたしました。

医・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」は引き続き堅調に推移いたしました。また、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」は細粒剤への剤型変更により、農業用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出の好調により、この分野の売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ増加いたしました。

塩化ビニル樹脂は、平成15年1月の営業権譲渡、受託生産への移行により売上げは前年同期に比べ減少いたしました。採算は大幅に改善いたしました。

以上の結果、本セグメントの売上高は165億3千5百万円、営業利益は20億7千2百万円となり、前年同期に比べ、売上高は23億3千5百万円の増収、営業利益は21億1千9百万円の大幅な増益となりました。

### 無機薬品

か性ソーダ  
塩酸  
液体塩素  
次亜塩素酸ソーダ

### 有機薬品

モノクロロベンゼン  
パラジクロロベンゼン  
オルソジクロロベンゼン

### 医薬品

クレスチン  
クレメジン

### 動物用医薬品

コバルジン

### 農薬

ラブサイド

DDVP

メトコナゾール

イブコナゾール

### 農材

粒状培土

園芸培土



テクリード  
(イネ種子消毒用殺菌剤:イブコナゾール)

クレメジン



## 樹脂製品事業

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデンフィルム、熱収縮多層フィルム、非収縮多層フィルムのフィルム類および多層ボトル等の業務用食品包装材の売上げは減少いたしました。新規開発製品「ベセーラ(ハイバリアーラミネート基材)の売上げは順調に推移いたしました。

中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドにつきましては、競合品との競争激化への対応に注力して売上げを増加させましたが、採算を改善するまでに到りませんでした。

金属蒸着フィルム、合成繊維等の産業用資材分野では、電気・電子素材用途の需要の回復等により、売上げ、営業利益ともに増加いたしました。

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用食品包装材「NEWクレラップ」は販売価格の適正化に注力いたしましたが売上げは横ばいに推移し、釣糸「シーガー」は売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、本セグメントの売上高は250億6百万円、営業損失は2千4百万円となり、前年同期に比べ、売上高は12億7千4百万円の増収、営業損益は7億9千5百万円の悪化となりました。

当セグメントの売上高	当中間期	構成比	前中間期	構成比
	25,006(百万円)	38.1%	23,731(百万円)	38.0%

食品包装材	家庭用品
塩化ビニリデンフィルム	NEWクレラップ
塩化ビニリデン・コンパウンド	流し台用水切りゴミ袋
熱収縮多層フィルム	掃除機用紙パック
非収縮多層フィルム	合成繊維
多層ボトル	ふっ化ビニリデン釣糸
ハイバリアーラミネート基材	芝工事
	人工芝および敷設工事
	包装機械
	自動充填結紮機



## その他事業

建設関連分野は、大型工事の完工と原価低減への取り組みにより、前年同期に比べ、売上げ、営業利益ともに増加いたしました。

環境関連分野は、高付加価値品の受注増加により、前年同期に比べ、売上げ、営業利益ともに増加いたしました。

運輸・倉庫分野は、受注増加と事業再構築を進めた結

当セグメントの売上高	当中間期	構成比	前中間期	構成比
	11,546(百万円)	17.6%	10,231(百万円)	16.4%

果、前年同期に比べ、売上げ、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、本セグメントの売上高は115億4千6百万円、営業利益は9億5百万円となり、前年同期に比べ、売上高は13億1千5百万円の増収、営業利益は6億5千8百万円の増益となりました。

## 株式の状況 (平成15年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数  
613,000,000株

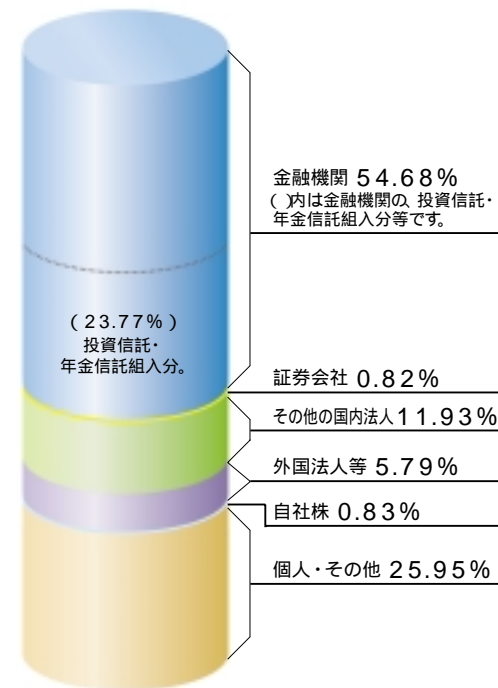
発行済株式の総数  
194,601,909株

株主数 23,181名

## 大株主の状況 (平成15年9月30日現在)

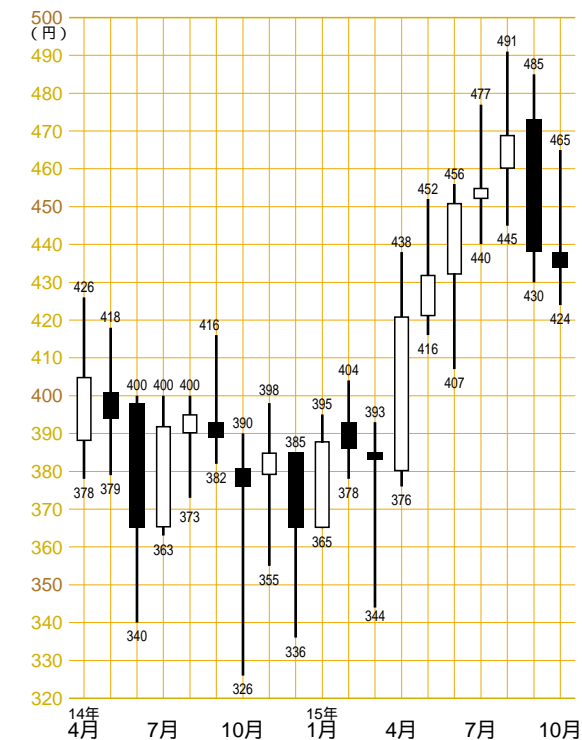
株主名	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,039	10.46
安田生命保険相互会社	13,746	7.17
東京海上火災保険株式会社	13,368	6.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,320	4.34
株式会社みずほコーポレート銀行	7,039	3.67
株式会社りそな銀行	6,738	3.51
三共株式会社	5,830	3.04
株式会社あおぞら銀行	4,922	2.56
丸紅株式会社	4,462	2.32
株式会社損害保険ジャパン	4,161	2.17

## 株式の所有者別構成比 (平成15年9月30日現在)



第91期 株式数：194,601千株

## 株価の推移



貸借対照表

金額 百万円)

科目	資産の部	
	当中間期 第91期 平成15年 9月30日現在	前期 第90期) 平成15年 3月31日現在
<b>流動資産</b>		
現金および預金	5,203	7,421
受取手形および売掛金	35,267	40,247
有価証券	5	506
棚卸資産	20,659	20,352
繰延税金資産	1,170	869
その他	3,263	3,422
貸倒引当金	401	368
<b>流動資産合計</b>	<b>65,167</b>	<b>72,451</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産		
建物および構築物	26,051	26,828
機械装置および運搬具	21,664	22,053
工具器具備品	2,083	2,130
土地	13,582	13,582
建設仮勘定	2,681	2,597
有形固定資産合計	66,064	67,191
無形固定資産	2,355	2,486
投資その他の資産		
投資有価証券	24,268	22,348
出資金	4,565	3,134
長期貸付金	2,119	2,893
繰延税金資産	1,367	1,253
その他	1,700	1,743
貸倒引当金	355	373
投資その他の資産合計	33,665	30,999
<b>固定資産合計</b>	<b>102,085</b>	<b>100,678</b>
<b>資産合計</b>	<b>167,253</b>	<b>173,129</b>

POINT 資産合計

資産合計は、現預金の圧縮、売上債権の回収・期間短縮化、設備の除却売却を進め、前期に比べ58億7千6百万円減少いたしました。

POINT 負債合計

有利子負債は58億4千万円減少して413億5千9百万円となり、負債合計は75億3千7百万円減少いたしました。

POINT 経常利益

営業利益は前期に比べ20億1千2百万円の増益となり、経常利益は為替差損や前期のプラスチック添加劑事業売却による持分法投資利益の減少がありました。18億1千6百万円の増益となりました。

金額 百万円)

科目	負債の部	
	当中間期 第91期 平成15年 9月30日現在	前期 第90期) 平成15年 3月31日現在
<b>流動負債</b>		
支払手形および買掛金	16,075	18,842
短期借入金	29,109	33,648
未払金	4,616	4,308
未払法人税等	1,721	525
未払消費税等	554	585
未払費用	3,475	3,849
賞与引当金	1,346	1,368
その他	2,214	3,073
<b>流動負債合計</b>	<b>59,114</b>	<b>66,202</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	12,249	13,551
退職給付引当金	2,501	2,670
役員退職慰労引当金	560	608
繰延税金負債	3,022	2,017
その他	886	823
<b>固定負債合計</b>	<b>19,221</b>	<b>19,670</b>
<b>負債合計</b>	<b>78,335</b>	<b>85,873</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>1,479</b>	<b>1,390</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,715	9,710
利益剰余金	61,155	60,562
その他有価証券評価差額金	5,289	3,771
為替換算調整勘定	320	409
自己株式	862	228
<b>資本合計</b>	<b>87,437</b>	<b>85,866</b>
<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>167,253</b>	<b>173,129</b>

損益計算書

金額 百万円)

科目	当中間期 第91期)	前中間期 第90期)
	平成15年 9月期	平成14年 9月期
売上高	65,660	62,420
売上原価	47,792	47,035
売上総利益	17,867	15,385
販売費および一般管理費	13,629	13,159
営業利益	4,237	2,225
営業外収益	413	528
営業外費用	1,040	960
経常利益	3,610	1,793
特別利益	459	844
特別損失	1,068	560
税金等調整前中間純利益	3,001	2,077
法人税・住民税および事業税	1,571	656
法人税等調整額	440	311
少数株主利益(減算)	66	144
中間純利益	1,804	966

キャッシュフロー計算書

金額 百万円)

科目	当中間期 第91期)	前中間期 第90期)
	平成15年 9月期	平成14年 9月期
営業活動によるキャッシュフロー	7,801	4,645
投資活動によるキャッシュフロー	2,383	1,536
財務活動によるキャッシュフロー	7,676	4,457
現金および現金同等物に係る換算差額	40	15
現金および現金同等物の増減額	2,217	1,363
現金および現金同等物の期首残高	7,421	6,851
現金および現金同等物の中間期末残高	5,203	5,487

POINT 営業活動によるキャッシュフロー  
営業活動によるキャッシュフローは、税引前利益30億円、減価償却費39億円に加え、売上債権回収に努めた結果、前期に比べ31億5千6百万円増加いたしました。

POINT 財務活動によるキャッシュフロー  
財務活動によるキャッシュフローは、有利子負債の返済、自己株式の取得等により、前期に比べ32億1千9百万円減少いたしました。

企業集団の状況 (平成15年9月30日現在)

機能製品事業

クレハ・ケミカルズGmbH  
クレハ・コーポレーション・オブ・アメリカ  
クレハ・ケーピーエスInc.  
レジナス化成(株)  
その他2社(1、2)

化学製品事業

ルトガス・クレハ・ソルベンツGmbH  
その他2社(2)

樹脂製品事業

呉羽プラスチック(株)  
呉羽合繊(株)  
加古川プラスチック(株)  
三晃プラスチック(株)  
クレハロン・インダストリーB.V.  
クレハ・ヨーロッパB.V.  
その他欧州包材4社  
その他1社(2)

その他事業

呉羽運輸(株)  
呉羽テクノエンジ(株)  
クレハ建設(株)  
呉羽環境(株)  
錦商事(株)  
(株)クレハ分析センター  
呉羽興産(株)  
その他14社

連結子会社-35社  
持分法適用関連会社-1社  
1 非連結子会社で持分法非適用会社-1社  
2 関連会社で持分法非適用会社-4社

貸借対照表

金額 百万円)

科目	資産の部	
	当中間期 第91期 平成15年 9月30日現在	前期 第90期) 平成15年 3月31日現在
流動資産		
現金および預金	4,010	3,600
受取手形	812	1,227
売掛金	22,634	25,505
棚卸資産	12,815	13,015
繰延税金資産	709	631
その他	7,430	9,114
貸倒引当金	64	69
流動資産合計	48,349	53,025
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,118	10,546
構築物	6,649	6,748
機械および装置	16,565	17,244
土地	7,461	7,461
その他	4,087	3,923
有形固定資産合計	44,882	45,924
無形固定資産	2,226	2,322
投資その他の資産		
投資有価証券	30,092	28,164
その他	8,021	7,860
貸倒引当金	269	289
投資その他の資産合計	37,844	35,736
固定資産合計	84,953	83,983
資産合計	133,303	137,008

POINT 資産合計

資産合計は、売上債権の回収・期間短縮化、棚卸資産の圧縮、設備の除却売却を進め、前期に比べ37億5百万円減少いたしました。

損益計算書

金額 百万円)

科目	当中間期 第91期) 平成15年 9月期	前中間期 第90期) 平成14年 9月期
	経常損益の部	
営業損益の部		
売上高	41,691	38,622
売上原価	27,242	26,408
販売費および一般管理費	11,418	10,907
営業利益	3,030	1,306
営業外損益の部		
営業外収益	484	716
営業外費用	814	623
経常利益	2,700	1,398
特別損益の部		
特別利益	402	394
特別損失	725	336
税引前中間純利益	2,376	1,457
法人税、住民税および事業税	1,050	255
法人税等調整額	75	343
中間純利益	1,401	858
前期繰越利益	13,120	15,929
中間未処分利益	14,522	16,787

POINT 経常利益

営業利益は前期に比べ17億2千4百万円の増益となり、経常利益は為替差損や前期のプラスチック添加剤事業売却による受取配当金の減少がありましたが、13億1百万円の増益となりました。

会社の概要および事業所 (平成15年9月30日現在)

商号	呉羽化学工業株式会社
本店	東京都中央区日本橋堀留町一丁目9番11号
設立	昭和19年6月21日
資本金	12,460,209,133円
従業員数	1,474名
ホームページ	http://www.kureha.co.jp/
支店	大阪支店
営業所	名古屋営業所、福岡営業所、札幌営業所、仙台営業所、いわき営業所 福島県いわき市)
工場	錦工場 福島県いわき市)
研究所	生物医学研究所(東京都新宿区) 錦総合研究所(福島県いわき市) 包装材料研究所(茨城県新治郡)

取締役および監査役 (平成15年9月30日現在)

取締役 会長(代表取締役)	天野 宏
取締役 社長(代表取締役)	田中 宏
取締役 副社長(代表取締役)	加治 久 継
専務取締役(代表取締役)	内山 正 樹
常務取締役	冨澤 藤 利
取締役	平松 義 行
取締役	舟木 竹 知
取締役	岡本 恒 夫
取締役	藤井 雅 彦
取締役	鈴木 直 哉
取締役	萩野 弘 二
取締役	新井 邦 夫
取締役	重田 昌 友
取締役	岩崎 隆 夫
監査役(常勤)	高岡 龍 一
監査役(常勤)	藤原 一 作
監査役	木村 和 俊
監査役	漆原 末 男

# KUREHA

## 株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

利益配当金支払  
株主確定日 3月31日

中間配当金を支払う  
場合の株主確定日 9月30日

公告掲載新聞名 日本経済新聞

名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
電話お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話(03)5213-5213(代表)

同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

決算公告のホームページのご案内

なお、当社の決算公告は、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ(<http://www.kureha.co.jp/>)に掲載しておりますので、こちらでもご覧いただけます。

# 第91期 中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで